

世界遺産・上賀茂神社で、京都芸術大学の学生が作品展示とワークショップを実施

——「上賀茂神社アートプロジェクト」7月18日～20日開催、地元小学生との制作活動の成果も——

世界遺産 世界文化遺産 上賀茂神社

第**16**回

アートプロジェクト

上賀茂神社

FREE
参加無料

16th KAMIGAMO ART PROJECT

令和8年
7月18日(土)～7月20日(祝・月)

開催時間 **10時～17時**

開催場所 **上賀茂神社境内(庁屋、客殿、参集殿、馬場殿)**

<p>作品展示 京都芸術大学 学部生・大学院生展</p> <p>会場:庁屋 7月18日(土)～20日(祝・月)・10:00～17:00</p>	<p>自由参加 組みひも多面体づくり</p> <p>会場:客殿 京都大学大学院 社会学部研究科 SAC6A 7月18日(土)・10:30～11:30</p>	<p>自由参加 京都芸術大学の学生による ワークショップ開催!</p> <p>会場:客殿 京都芸術大学 学部生・大学院生 7月18日(土)・10:30～11:30</p>
<p>実演参加 能楽体験</p> <p>会場:客殿 舞楽堂「観音堂・月村焼火匠」 7月19日(日)・10:00～11:30</p>	<p>実演参加 夢をかなえる JAL折り紙ヒコーキ教室</p> <p>会場:客殿 JAPAN AIRLINES 7月18日(土)・13:30～13:00(受付13:00～)</p>	<p>役員参加 校野小学校3年生の行灯展示</p> <p>会場:馬場殿講堂 7月18日(土)～20日(祝・月)・10:00～17:00</p>

主催 上賀茂神社アートプロジェクト実行委員会 **共催** 上賀茂神社 **協力** 京都芸術大学、日本航空株式会社、上賀茂神社青年会

後援 京都市、京都市、京都市教育委員会、京都市職工会連合会、公設社団法人京都市観光協会、京都府観光局、読売新聞京都総局、毎日新聞京都支局、NHK 京都放送局、KBS京都 (順不同)

協賛 千代田、京福堂、舞臺やせもち蔵本舗、京都守り田、大福屋(株)、(有)ジャパングラフィック、art gallery be 夢蔵、(株)オネスト、(株)キャラメル、日本読者センター(株)、会神インキ工業(株)、廣報堂(株)、乃三舎、(株)think (順不同)

※ 協賛関係により、予告なく内容を変更する場合がございます。イベントへの応募等の詳細はホームページをご覧ください。

京都芸術大学（KUA、京都市左京区／学長：佐藤 卓）の美術工芸学科（通学課程）の学生たちが、2026年7月18日（土）～20日（祝・月）の3日間、世界文化遺産である上賀茂神社境内で開催される第16回「上賀茂神社アートプロジェクト」に協力いたします。

本プロジェクトは、地域の子どもたちに文化芸術を広く体験してもらい、豊かな感性を育むことを目的とした上賀茂神社の夏の恒例行事で、今年で16回目の開催となります。

境内の重要文化財施設「庁屋（ちょうのや）」では、京都芸術大学の学部生・大学院生10名の作品が展示されるほか、日本画コースの学生が地元・柘野小学校の授業で制作指導を行った行灯（あんどん）の展示、学生によるうちわ制作などのワークショップも実施されます。

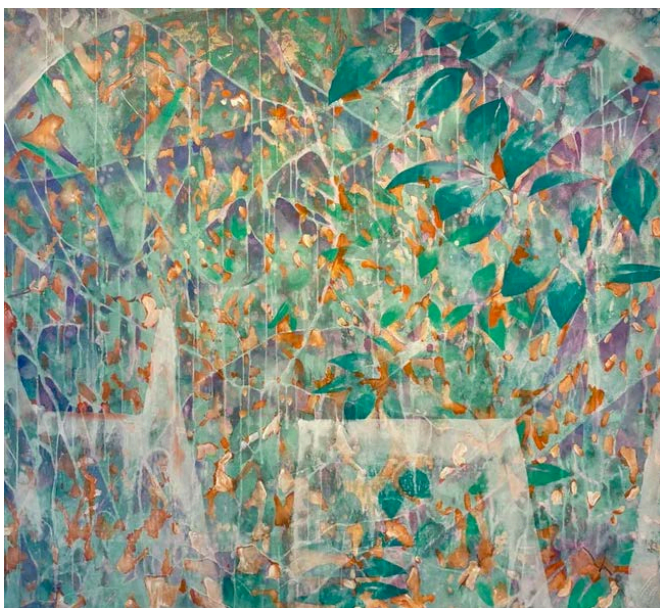
千年の都・京都でも最古級の社である上賀茂神社という特別な舞台上、学生たちが地域や社会とつながり、土地に息づく文化芸術の魅力を伝えます。

■ 世界遺産・上賀茂神社を舞台に、学生作品を展示

同神社の境内にある重要文化財施設「庁屋」では、本学の学部生・大学院生10名の作品が展示されます。日々多くの表現が生まれる本学から、日本画、油画、染織テキスタイルを学ぶ学生の作品が集まります。

【出品作家】※五十音順

郁子恒／井上 理子／宇田 和花／康 詩曼／酒井 快太／高宮 千寛／懷芽／西野 皐生／早川 菜々穂／月月月



早川 菜々穂「隙間」(参考作品)



郁子恒「BROKEN」



酒井 快太「オンドリ」(参考作品)



懐芽「白象踊り」(参考作品)

■地元小学生との制作活動を通じ、地域とつながる学びを実践——アートを通じた地域社会への貢献

開催に先立ち、6月19日には本学美術工芸学科の学生たちが地元の京都市立柘野小学校を訪問し、3年生の図工の授業で子どもたちへ行灯（あんどん）制作の絵付け指導を行いました。現役で創作活動を行う大学生から色の使い方や描く楽しさを学び、子どもたちが一生懸命に描き上げた行灯は「馬場殿前芝生」の一角に展示されます。また、学生たちが日頃の成果を発揮して制作した行灯も「馬場殿」に展示され、それぞれ会場を鮮やかに彩ります。



昨年の行灯の展示風景。写真手前が小学生たちの作品



「馬場殿」に並ぶ大学生の作品

初日の7月18日（土）には、本学の学生たちによるものづくりワークショップ「納涼！ 廃材でつくるオリジナルうちわ」も開催。

本イベントには、京都市長の松井孝治氏も「子どもたちの感性を育む豊かな学びの場」として、期待のメッセージを寄せています。

■開催概要

イベント名：第16回 上賀茂神社アートプロジェクト

日時：7月18日（土）～7月20日（祝・月） 10:00～17:00

会場：上賀茂神社境内（庁屋、客殿、参集殿、馬場殿）

料金：入場・参加無料

主催：上賀茂神社アートプロジェクト実行委員会

共催：上賀茂神社

協力：京都芸術大学、日本航空株式会社、上賀茂神社青年会

公式WEBサイト：<https://www.kamigamo-art-pj.com>

■ワークショップ「納涼！ 廃材でつくる オリジナルうちわ」

日時：7月18日(土) 10:30～11:30

場所：上賀茂神社 客殿

内容：廃材を自由に並べ、色を吹きかけて模様をつくり、自分だけのうちわをデザインします。

芸大生たちの制作から生まれた素材を使いながら、夏の風を運ぶ一枚を完成させます。



ワークショップで制作するうちわのイメージ

■京都芸術大学（KUA）について

京都芸術大学は、通学課程と通信教育課程を併せ持ち、約24,000名が在籍する国内最大規模の総合芸術大学です。2027年に創設50周年を迎えます。

通学課程（芸術学部10学科24コース）では、「社会と芸術」の関わりを重視し、企業や自治体と連携した

「社会実装プロジェクト」を年間100件以上展開。アート・デザインの力で現実社会の課題解決に取り組む実践的な教育を行っています。

通信教育課程（5学科19コース）は1998年に開設された、日本初の4年制芸術大学通信教育課程です。全国・海外から多様な学生が学び、在籍者数において私立の通信制大学の中で国内最大級の芸術大学となっています。年齢や経験を問わず芸術を学べる環境を提供しています。

所在地：〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山町2-116

URL：<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/26069

【メディア関係者向け情報】

本イベントは取材可能です。取材をご希望の場合は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

■取材可能日時

2026年7月18日（土）

※学生作品展示、地元小学生による行燈作品展示、子ども向けワークショップの取材が可能です。

■当日撮影や取材が可能なもの

- ・京都芸術大学 学生作品の展示風景
- ・地元小学生が制作した行燈作品の展示風景
- ・子ども向けワークショップの様子
- ・学生、教員、本学関係者への取材

※上賀茂神社境内での撮影可能範囲、来場者・児童の撮影可否については主催者側への確認が必要です。

<本件に関する大学へのお問い合わせ先>

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学

広報担当：木原、久保、田中

TEL：075-791-9112 E-mail：kouhou@office.kyoto-art.ac.jp